

東谷地区福祉委員会 第4次地区福祉計画

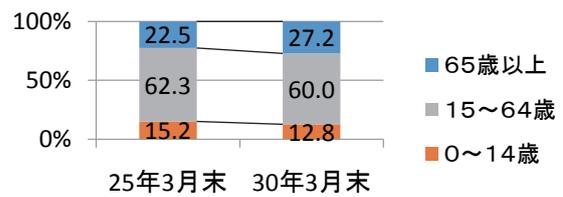
地区の特徴

東谷の良いところは、豊かな自然と、人と人とのつながりを大切にすることです。南北に細長い地形で、地区の中心には地区活動の拠点、「プラザ・ひがしたに」があります。そこではコミュニティカフェを開催し、子どもから高齢者まで誰もがとどえる居場所になっています。また、地区内には20の自治会があり、それぞれの特徴を活かして、小地域ふれあいサロンを開催し、歩いていくことができる、声をかけあい誘って出かけるところがある、困ったときに助け合える、そんなつながりを作っています。

東谷地区福祉委員会では、自治会、コミュニティとともに、ともに支えあい、安心して暮らすことができる地域を目指して活動しています。

東谷地区の人口、世帯数、高齢化率推移

| | 平成25年3月31日現在 | 平成30年3月31日現在 |
|--------|--------------|--------------|
| ● 人口 | 14,375人 | 13,645人 |
| ● 世帯数 | 5,730世帯 | 5,755世帯 |
| ● 高齢化率 | 22.5% | 27.2% |



福祉目標

ともにささえあうふれあいのまち・ひがしたに

地区の重点事業



重点
1

支えあい・つながり（居場所づくり）

重点
2

支えあい・つながり
（支えあいの仕組みづくり）

重点
3

支えあい・つながり（地域での助け合い）

重点
4

みんなに知ってもらおう（広報活動）

重点
5

この指とまれ（人と人とのつながり）

地区別ワークショップでの意見

- ◇居場所づくり（自治会、老人会による交流の場）
- ◇施設、学校、寺、神社などの施設を利用した居場所づくり
- ◇三世代参加のふれあい
- ◇移動手段の確保
- ◇地域福祉情報の発信
- ◇放課後に安心して過ごせる場づくり

第3次地区福祉計画からの課題 （25年度～29年度）

- ◇誰もが安心して立ち寄ることの出来る場所
- ◇自分の役割がある場所づくり
- ◇コミュニティ、自治会、民生児童委員との連携
- ◇移動手段の確保
- ◇ボランティアの人材確保
- ◇福祉携帯電話の利用
- ◇自主財源の確保

現在の地区の取り組み

- 福祉ネットワーク会議
- 小地域ふれあいサロンの開催
- カフェ・のぞみの開催
- ほっと・笑（高齢者の集い）

- ハートフル・カフェ（障がい者のためのカフェ）
- ふらっと・b（認知症カフェ）
- 「東谷のふくし」広報紙の発行
- ボランティア部会「ここ・ほっと」活動



ほっと・笑



「東谷の福祉」広報紙



カフェ・のぞみ

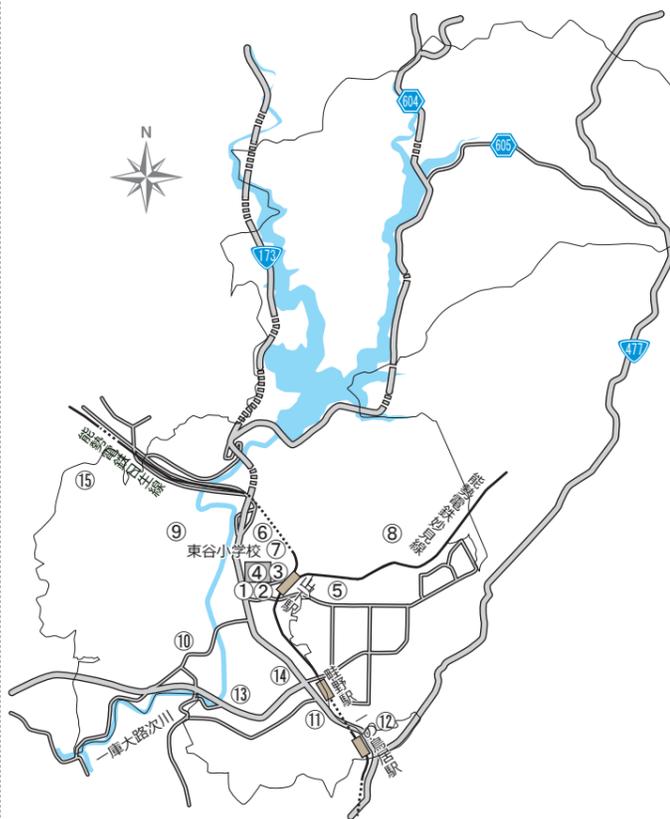


小地域ふれあいサロン



ふらっと・b

つながりMAP



- ①カフェ・のぞみ ○○○♥
- ②東谷公民館 □
- ③東谷幼稚園
- ④東谷小学校
- ⑤東谷中学校
- ⑥下財自治会館 ○
- ⑦山下自治会館 ○
- ⑧笹部自治会館 ○
- ⑨緑が丘自治会館 ○
- ⑩西畦野公会堂 ○
- ⑪東畦野自治会館 ○
- ⑫一の鳥居老人福祉センター ○
- ⑬畦野子どもの里保育園
- ⑭セブンイレブン東畦野店
- ⑮ディサービス里の風

東谷小地区の自治会は以下のとおりです。

- ・黒川 ・一庫 ・笹部 ・下財
- ・山下 ・緑が丘 ・東緑が丘
- ・西緑が丘 ・山原 ・西畦野
- ・見野 ・見野芝 ・見野東
- ・東梅野 ・国崎 ・東方団地
- ・北旗台 ・長尾町 ・鳴尾
- ・グランフィエネ

備考: ○居場所 ○相談窓口 □子育てひろば ♥ボランティア



重点
1

支えあい・つながり（居場所づくり）



目的

身近な場所に、誰もが気軽に立ち寄り、安心できる居場所を増やすことで、地域のつながりづくりを推進します。

具体的取り組み

- ▶ 各自治会にて取り組まれている小地域ふれあいサロンの実施を支援します。また、開催場所や回数の増加を目指し、より身近な場所での居場所づくりに取り組みます。
- ▶ 誰もが気軽に立ち寄れるカフェ・のぞみ、認知症の方やその家族のためのふらっと・b、障がい者のためのハートフル・カフェなどの開催を、民生委員・児童委員、キャラバン・メイトなどと連携して進め、多様な方と出会うつながる場、自分の居場所や役割がある場づくりに取り組みます。
- ▶ 高齢になっても人とつながり、生き生きと過ごせるよう、ほっと・笑を開催します。

重点
2

支えあい・つながり（支えあいの仕組みづくり）

目的

日ごろから声をかけあい、災害時や認知症になっても安心して暮らすことのできる体制づくりを目指します。

具体的取り組み

- ▶ 避難行動要支援者支援の体制づくりや東谷SOSネットワーク（行方不明者発生時のネットワーク）を通して、コミュニティ、自治会、民生委員・児童委員、福祉委員との連携を図り、日常の見守り体制の充実を目指します。
- ▶ 福祉ネットワーク会議の開催などを通して、地区内の関係団体・機関とのつながり、連携を深めるとともに、地区内の課題を共有し課題解決に取り組みます。
- ▶ 東友会（高齢者の支えあい）の活動を支援し、高齢者同士のつながりづくりを進めます。



東谷地区福祉委員会のシンボルマークです

豊かな土壌（東谷）に太い幹（安心）と枝（つながり）が空に向かって伸びています。枝の先にはたくさんの葉っぱ（東谷の皆さんの生活）が広がっています。東谷地域のつながりを表しています。

重点3 支えあい・つながり（地域での助け合い）



目的

誰もが住み慣れた場所で暮らしつづけることができるよう、住民相互の助け合いの気持ちをもとに、ともに支えあう生活支援の取り組みを進めます。

具体的取り組み

- ▶ 誰もがボランティアとして活動できるような仕組みを各関係機関と連携しながら検討し、ここ・ほっと（ボランティア部会）の活動の拡充を図ります。
- ▶ 誰もが気軽に相談できるよう、地域の各居場所に相談窓口を設置し、地域における相談機能を強化します。

重点4 みんなに知ってもらおう（広報活動）

目的

生活に必要な福祉情報や福祉委員会の活動を地区内のみんなに知ってもらえるよう、広報活動に取り組みます。

具体的取り組み

- ▶ 「東谷のふくし」や福祉委員会の活動カレンダーを定期的に全戸へ配布したり、活動案内チラシの掲示場所の工夫やメールの活用などを検討することにより、福祉委員活動のPRと福祉情報の発信に取り組みます。
- ▶ 福祉講座を開催し、福祉に関する周知、啓発に努めます。

重点5 この指とまれ（人と人とのつながり）

目的

福祉委員会事業を見直し整理するなどし、活動しやすい環境を整え、福祉人材の確保に取り組みます。

具体的取り組み

- ▶ 既存の事業を見直したりテーマ型で募集するなど、活動しやすく気軽に参加できるボランティア活動のきっかけづくりを検討します。
- ▶ 三世代交流会の開催を通して多世代の交流を図り、多様な世代が福祉に触れる場を作ります。
- ▶ 定期的に役員会及び委員会を開催し、活動における課題を共有し話し合うことにより、福祉委員が活動しやすい環境を整えます。

東谷小地区 地区別ワークショップ及び検討会議

| 日程 | 内容 |
|------------------------|------------|
| ▷ 平成29年 7月22日 | ワークショップ 開催 |
| ▷ 平成30年 1月28日 | ワークショップ 開催 |
| ▷ 平成29年11月15日 | 検討会議 開催 |
| ▷ 平成29年12月13日 | 検討会議 開催 |
| ▷ 平成30年 1月10日、2月8日、19日 | 検討会議 開催 |



東谷小地区福祉委員会事業一覧表（平成30年度現在）

| 事業名 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日 | 区分 新規・重点 |
|-------------------------|---|-------------|
| 1 支えあい・つながり （居場所づくり） | 小地域でのふれあいサロンの開催 （自治会ごとの拠点） | 重点 |
| | ふらっと・bの開催 <第3木> （認知症があってもなくても安心できる居場所） | 重点 |
| | ハートフル・カフェの開催 <第1・3土> （障がいがあってもなくても安心できる居場所） | 重点 |
| | カフェ・のぞみの開催 <火・水・金> （誰もが集える居場所） | 重点 |
| | ほっと・笑の開催 <第1・2・3月> （高齢者の集える居場所） | |
| | あひるくらすの支援 <第2火> | |
| | ふれあいサロンの開催 | |
| （支えあいの 仕組みづくり） | 避難行動要支援者の体制づくり | |
| | 東谷SOSネットワーク（東谷安心ネットワーク） | |
| | 福祉ネットワーク会議 | |
| | 東友会（高齢者の支えあい） <年4回> | |
| | 関係団体及び関係機関との連携 3地区福祉委員会（大和、北陵、東谷） ブロック会議に参加 <年3回> 東谷幼稚園との行事の共催 介護フェアの開催 | |
| （地域での助け合い） | ここ・ほっと（ボランティア部会）の活動 | 重点 |
| | ボランティアの育成、啓発、研修会の開催 | 重点 |
| | キャラバンメイト活動の支援 | |
| | 相談窓口の設置 （各集い、居場所に設置） | 重点 |
| 2 みんなに知ってもらおう （広報活動） | 広報紙の発行及び行事案内 <福祉情報の提供：年2回、行事カレンダー：年6回> | |
| | 福祉講座の開催 <年2回> | |
| 3 この指とまれ （人と人とのつながり） | 福祉委員の研修及び定期的な役員会、担当委員会の開催 | |
| | 三世代交流会の開催 <年1回> | |
| 4 活動拠点の運営 | プラザひがしたに等地区福祉拠点の維持・運営 | |

東谷地区福祉委員会 策定委員会名簿

(順不同)

| 所属 | 氏名 (敬称略) |
|-----------|----------|
| 東谷地区福祉委員会 | 片峰 純子 |
| 東谷地区福祉委員会 | 井上 馨 |
| 東谷地区福祉委員会 | 西元 一子 |
| 東谷地区福祉委員会 | 金南 純子 |
| 東谷地区福祉委員会 | 片峰 斎 |
| 東谷地区福祉委員会 | 黒川 和子 |
| 東谷地区福祉委員会 | 井上 美鈴 |
| 東谷地区福祉委員会 | 立川 彌生 |
| 東谷地区福祉委員会 | 長谷川 美紀子 |
| 東谷地区福祉委員会 | 森井 松恵 |
| 東谷地区福祉委員会 | 仲 輝明 |
| 東谷地区福祉委員会 | 三宅 保夫 |
| 東谷地区福祉委員会 | 萩原 真理 |
| 東谷地区福祉委員会 | 竹本 勇 |
| 東谷地区福祉委員会 | 石川 晃 |